

バハマ、ジャマイカとドミニカ共和国 10日間

出発日限定・特別企画	
旅行期間	3月3日(水)～3月12日(金)
旅行代金	1,298,000 円
一人部屋利用追加代金	154,000 円

◎利用予定航空会社：ウエストジェット航空。
 ◎添乗員：成田空港より全行程同行致します。
 ◎ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくは、お問い合わせ下さい。
 ◎食事：朝食8回、昼食5回、夕食6回(機内食除く)
 ◎海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
 ◎最少催行人員：10名(最大20名)

◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆

◎成田空港使用料・保安サービス料 3,160 円
 ◎国際観光旅客税：3,000 円
 ◎燃油サーチャージ目安：100,000 円(2026年9月現在)
 ◎カナダ電子渡航認証システム(eTA)要：7カナダドル
 ◎eTA取得代行手数料：4,400 円(税込)
 ◎パスポートコピー：必要
 ◎旅券余白：3 頁以上
 ◎旅券残存期間：ジャマイカ入国時 6 カ月以上要

◆コースのポイント◆

エメラルド色の海と白砂のビーチが美しいバハマ、カリブ海で 2 番目に大きなイスパニョーラ島の東側を占め、スペイン植民地時代の面影を色濃く残すドミニカ共和国、そしてブルー・マウンテンを擁し、レゲエ発祥の地として知られるジャマイカ。美しい海、大航海時代から続く歴史、独自の音楽や食文化など、それぞれに異なる魅力を持つ個性的なカリブの島国3カ国を、各国 2 連泊を基本にじっくりと巡ります。

◇**ドミニカ共和国**：カリブ海でキューバに次いで 2 番目に大きなイスパニョーラ島の東側三分の二を占める国。新大陸で最初にヨーロッパ人が定住した土地であり、その後のスペインの侵略拠点でありました。スペインなど列強の植民地、及び隣国ハイチの支配を経て、1844 年に独立。首都はサント・ドミンゴ。公用語はスペイン語。



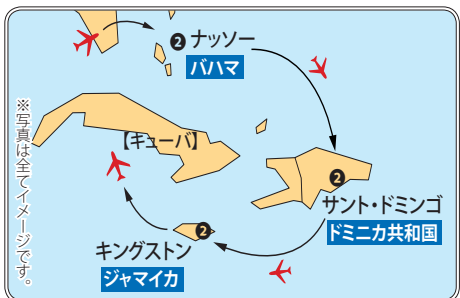
コロムブス広場のコロムブスの像／サント・ドミンゴ



ファロ・ア・コロム (コロムブス記念灯台) 内部のコロムブスの墓



地底湖回入。トレレス・オホス



都市名	スケジュール
1 東京 トロント	■夕刻(18:35)、成田空港より、空路、カルガリー乗り継ぎ、トロントへ。 ■夜、トロント着後、ホテルへ。〈トロント空港泊〉日 月 火
2 トロント ナッソー	■午前、空路、バハマの首都ナッソーへ。 ■夕刻、ナッソー着後、ホテルへ。〈ナッソー泊〉日 月 火
3 ナッソー滞在 (ローズ島)	■午前、ナッソー沖の美しい島・ローズ島へ。ボートにて約 30 分のクルーズを楽しみながら、エメラルド色の海と白砂のビーチが広がる島を訪れます。ビーチでは、海を泳ぐことで知られる愛らしい豚たちをご覧いただきます。カリブ海ならではのユニークな体験をお楽しみください。観光後、ナッソーに戻ります。 ■午後、ナッソー市内観光。ピンク色のコロニアル建築が並ぶパラメント・スクエア、総督官邸、18 世紀後半、奴隷たちの手によって造られた石段クイーンズ・ステアケース、港を見下ろす小さな要塞フィンキャッスルなど。〈ナッソー泊〉火 水 木
4 ナッソー サント・ドミンゴ	■午前、空路、カリブ内都市乗り継ぎ、ドミニカ共和国の首都サント・ドミンゴへ。 ■午後、サント・ドミンゴ郊外の観光。石灰岩の洞窟内に神秘的な青緑色の地底湖が広がるロス・トレス・オホス公園へご案内します。長い年月をかけて形成された洞窟と、光を受けて美しく輝く地底湖の幻想的な景観をお楽しみください。 ★夕食は、ドミニカを代表するダンス・メレンゲショーをご覧いただきながら、お召し上がりいただきます。〈サント・ドミンゴ泊〉木 金 土
5 サント・ドミンゴ 滞在	■終日、サント・ドミンゴの観光。コロンブスの子孫が住んでいた歴史的建造物アルカサル、歴代の総督が住んでいた王宮ラス・カサス・レアレス、アメリカ大陸最古のカテドラル、パンテオン、旧市街の散策、コロンブスが眠るフォロ・ア・コロム(コロンブス記念灯台)へご案内します。〈サント・ドミンゴ泊〉土 日 月
6 サント・ドミンゴ キングストン	■昼、空路、ジャマイカのキングストンへ。 ■着後、キングストン市内観光。ジャマイカ国宝建築物のひとつデヴォン・ハウス、ボブ・マーリー博物館へご案内します。〈キングストン泊〉月 火 水
7 キングストン 滞在 (UCC コーヒー農園) (ポート・ロイヤル)	■終日、キングストン郊外の観光。スペイン統治時代の古い町並みが残るスパニッシュ・タウンや、世界的に知られるブルー・マウンテン・コーヒーを栽培する UCC コーヒー農園を訪問。また、2025 年に世界文化遺産に登録された、17 世紀にカリブ海交易の一大拠点として栄えたポート・ロイヤルを訪れます。かつて海賊たちも集った港町には、当時を偲ばせる要塞などが残されています。 ★昼食は、ジャマイカ名物ジャークチキンをお召し上がりください。〈キングストン泊〉水 木 金
8 キングストン カルガリー	■午前、帰国準備など自由行動。 ■午後、空路、トロント乗り継ぎ、カルガリーへ。〈カルガリー空港泊〉金 土 日
9 カルガリー	■午後、空路、帰国の途へ。〈機中泊〉日 月 火
10 東京	■午後(16:30)、成田空港着。入国、通関後、解散。

※3 日目、ローズ島へのボートが海況によって欠航の場合、代替して市内観光にご案内させていただきます。
 ※各国の観光施設の開閉状況は流動的です。予定の観光施設が閉館の場合は、代替観光にご案内させていただきます。
 ※航空便の遅延、欠航などにより、日程変更や観光内容の割増などが発生する場合がございます。お含みください。

◇**バハマ国**：フロリダ半島の南東、カリブ海の北側に位置し、約 700 の島々と多数の岩礁からなる島国。そのうち人が暮らす島は約 30 島で、首都ナッソーはニュープロビデンス島にあります。かつて英国の植民地で、18 世紀には海賊たちが活動する拠点としても知られました。1973 年に英国から独立し、公用語は英語です。透明度の高いエメラルド色の海と白砂のビーチに恵まれ、世界有数のリゾート地として発展しました。首都ナッソーには英国統治時代を偲ばせるコロニアル建築や要塞が残り、沖合の島々では美しい海とともに、ビーチや浅瀬で過ごす「泳ぐ豚」たちの姿もバハマならではの名物として親しまれています。



パラメント・スクエア



"泳ぐ豚"で人気のローズ島



要塞と市街を結ぶ階段クイーンズ・ステアケース

◇**ジャマイカ**：キューバの南に位置する、秋田県よりやや小さな島国。内陸部には標高 2,256m の最高峰ブルー・マウンテン・ピークをはじめ緑豊かな山々が連なります。スペイン統治時代の、約 300 年間英国の支配下に置かれ、1962 年に独立。首都はキングストン、公用語は英語です。レゲエ・ミュージック発祥の地として知られ、「レゲエの神様」ボブ・マーリーは今も国を代表する存在です。また、山岳地帯ではコーヒー栽培が盛んで、世界的な高級品ブルー・マウンテン・コーヒーは日本とも深い結びつきがあります。かつて海賊たちの町として栄えたポート・ロイヤルの遺構群は、2025 年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。



国宝建造物のひとつデヴォン・ハウス



キングストンの街角



UCC コーヒー農園

イヤホンガイド・サービスを使用します。 昼食時、夕食時にドリンクウォーター(飲用水)をサービスします。

より快適な、価値ある旅のご案内

●国内線の乗り継ぎについて

◇大阪、名古屋、福岡、札幌などからの国内線でご出発の料金、追加料金にて手配を承ります（一部コースを除く）。料金につきましてはお問い合わせ下さい。（別途、お席の確保が必要となります。）

◇国内線をご利用の場合、国内線の遅延や、乗り継ぎ不可能な時、座席を確保できない、他の交通機関を利用した時、羽田経由の場合の成田空港までの交通費、宿泊が必要となった時の費用等、ご出発とご帰国の国内における諸費用はお客様の負担となります。

●航空機及び移動について

◇利用航空会社は、日本発着便を原則として表示しており、乗り継ぎを必要とする時の航空便や、旅行地で空路移動する場合の航空便は、他の航空会社となることもあります。

◇航空便の座席（隣合わせ、窓側、通路側等）については、ご希望に添えない場合もございます。又、座席の組み合わせ等によりご同伴の方でも隣り合わせのお席にならないこともございます。

◇隣地や列車等での移動でボーダーがない場所では、お客様にご協力いただきご自身の荷物をお運びいただくこともございます。

●利用航空機について（日本発着便）

◇エアロメヒコ航空、エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、カタール航空、エティハド航空、エチオピア航空、ウエストジェット航空、エアカナダ、デルタ航空、アメリカン航空、ユナイテッド航空、全日空、日本航空、シンガポール航空、フランス航空、KLM オランダ航空、ITA エアウェイズ、ルフトハンザ・ドイツ航空、スイス・インターナショナル・エアラインズ。

●日程中のマークの読み方

◎：朝食、☉：昼食、☼：夕食、☎：機内食、☐：食事なし、○：入場観光、○：下車観光、△：車窓観光

●時間帯のめやす

04:00	06:00	08:00	12:00	13:00	17:00	19:00	23:00
深夜	早朝	朝	午前	昼	午後	夕刻	夜

●ご宿泊について

◇お一人で参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、**一人部屋利用追加代金の半額にて**、お一人部屋をご利用いただけます。但し、ご出発日の60日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限ります。尚、相部屋の方の、禁煙・喫煙、同年代などの希望には添えません。また、お申込後「相部屋⇒一人部屋」へ希望を変更することは原則不可となります。

●個人情報取り扱いについて

◇弊社は旅行申込の際にご提出頂いたお申込書に記載された個人の情報に関しましては、お客様と弊社との連絡に利用させて頂く他、当該旅行の実施に関わる関係諸機関へ必要な範囲内で提供いたします。また、弊社の旅行商品の開発、ご案内などで利用させて頂く場合もございます。

●海外渡航関連情報について

◇訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下でご確認下さい。

■外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

■厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

昼食時、夕食時にドリンクウォーター（飲用水）をサービス

場所によってはガス入りとなる場合もございます。

便利なイヤホン・ガイドサービスを使用

添乗員、ガイドから離れていても説明が聞けるイヤホン・サービスをご利用いただけます。カメラ・ビデオを撮影しながら自由に動けることで大変好評いただいております。

◇フライトの遅延・欠航など当社の関知しない事由により旅程を変更せざるを得ない場合や帰国が遅れた場合など、追加で必要となる費用は、旅行業約款に基づき、ご参加者の皆様に負担いただくことになります。予めご了承の上、お申込み下さいませよう、お願いいたします。

◇旅行事故緊急費用や偶然事故対応費用を含む海外旅行保険にご加入いただくことをお勧めいたします。

◇ご協力とお願い◇

団体旅行は、楽しい旅をしていただくためにお客様同士の心配りが大切です。バス移動の際の前方座席の連日の独占は避け、カメラ・ビデオの撮影マナー、喫煙マナー、食事マナーなどに気を配り、お互いに譲り合い、公序良俗を守り、気持ちよく旅ができるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

ご旅行条件（要旨）ご旅行代金の内訳、お取消料などについて、旅行条件を十分にお読み下さい。

この旅行は株式会社旅のデザインルーム（以下当社）が企画・募集し実施する企画旅行であり、参加されるお客様は当社と企画旅行契約を締結することになります。当社は旅行日程に従ってお客様が運送・宿泊機関等の旅行に関するサービス（以下旅行サービス）の提供を受けることができるように、手配することを引き受けます。この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面及び同法12条の5に定める契約書面の一部になります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行条件書（全文）、ご出発前にお渡しする最終日程表（確定書面）になります。お申込の際は、旅行条件書（全文）をお受け取りの上、必ずご確認下さいませよう願ひ申し上げます。

●旅行代金に含まれるもの

◇旅行日程に明示した運輸機関の運賃、食料料金、観光料金（バス料金・ガイド料金・入場料）、宿泊料金（二室を基準）及び税・サービス料、海外空港諸税、スーツケース一個の運搬料金、団体行動中のチップ、添乗員付コースはその同行諸費用。以上の費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●旅行代金に含まれない物

◇上記の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。超過手荷物料金、お一人部屋を利用される場合の追加料金、希望者のみ参加されるオプション・ツアーの料金、渡航手続関係諸費用（旅券印紙代、手続代料金など）、日本国内の空港施設使用料・保安サービス料、国際観光旅客税、燃油サーチャージ、国内におけるご自宅からツアー集合及び解散空港間の交通費・宿泊費、クーリング代・電報電話料金・ホテルのボーイやメイドへのチップ、日程明示外及び別途追加の飲食費、他一切の個人的性質の諸費用。

●お申し込み際について

◇旅行中に特別な手配を必要とする方は、お申込みの時にその旨お申し出下さい。旅行の内容によっては、お伺いや健康診断書等をご提出いただく場合がございます。又コースによっては、ご参加いただけないこともございます。

◇他のお客様に迷惑を及ぼすおそれがあると当社が判断する方のお申込みはお断りすることもございます。

●旅行代金のお支払い

◇旅行代金は、出発日の21日前までにお支払い頂きます。

●取消料

旅行解除期日	旅行代金	取消料（お一人）
ピーク時の旅行（41日前までは不要） ●40日前から31日前までの取消し		旅行代金の10% （限度額5万円）
その他の期間の旅行（31日前迄不要） ●30日前から21日前迄の取消し	30万円以上 15万円以上 30万円未満 15万円未満	50,000円 30,000円 20,000円
以下は全ての旅行に適用 ●20日前から3日前までの取消し		旅行代金の20%
●前々日から当日		旅行代金の50%
●無連絡不参加及び旅行開始後		旅行代金の100%

●「ピーク時」とは12/20～1/7、4/27～5/6及び7/20～8/31をいいます。

●取消料の対象なるお支払い対象旅行代金とは、旅行代金と追加代金（一人部屋利用追加代金・航空機の等級変更による差額など）の合計額です。

●相部屋の方のお取り消しに伴う一人部屋追加代金について

◇相部屋のお相手の方（配偶者・友人も含む）がお取消しされた場合、結果的にお一人でお部屋を利用することになる方は、**一人部屋利用追加代金のお支払いが必要となります**。尚、その後相部屋希望者の参加があった場合は必要ありません。

●旅行条件・旅行代金の基準

◇この旅行条件は2026年9月1日を基準としております。また旅行代金は2026年9月1日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しています。尚、旅行代金の変更について定めた当社約款第13条第1項から第4項の適用に関し、幅運賃制であるIIT運賃（個人包括旅行運賃）を適用した旅行は、幅の範囲内での航空運賃の増額又は減額があっても当該旅行の代金の変更は致しません。詳細については、当社の旅行業約款をご覧ください。又、当社はいかなる場合でも旅行の再実施は致しません。

●旅程保証

◇旅行日程に重要な変更が行われた場合は、旅行業約款の規定により、その変更の内容により変更補償金をお支払い致します。

●旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。担当者からの説明にご不明な点がございましたらご遠慮なく、下記旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

マラリアについて ※中南米は、マラリアの発生地域と云われております。黄熱病と異なり出入国の条件にはなっていないませんが、旅行中は予防に努めましょう。

【マラリアとは】

ハマダラ蚊による吸血により人に感染する感染症です。ハマダラ蚊は、夕方から夜にかけて飛び始めます。マラリア危険地域では夕方以降の外出はなるべく避けましょう。

【マラリアの症状】

高熱、寒え、咳、下痢、関節痛、頭痛、吐き気、全身の痙攣、昏睡など。放置すると死に至る可能性もあります。

【マラリアの潜伏期間】

マラリアは感染してから1週間から4週間で発病することが多いといわれています。

【マラリアの治療】

マラリアの治療で最も大切なのは早期発見、早期治療です。早期にきちんと治療すれば大抵のマラリアは数日のうちに回復します。熱帯や亜熱帯への旅行後や旅行中に高熱がでたら直ぐに医療機関を受診することが大切です。

【マラリアの予防法】

マラリアに対してはまだ有効な予防接種がありません。一方、抗マラリア薬を服用することで予防可能ですが、抗マラリア薬の効かない耐性マラリアや副作用の問題があります。厚労省は予防的服用をはっきりと推奨しておらず、個人的な意思に任せるとしております。最も効果的な予防法は蚊に刺されないことです。夕方以降に外出する場合は、長袖長ズボン、虫除けスプレーを塗布しましょう。また、就寝時には蚊取線香やベープを焚くことによいでしょう。

【最新情報】

厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

★高山病について、必ずお読み下さい／ペルー、ボリビアの高地を訪れるツアー★

★高山病とは、低酸素状態に置かれたときに発生する症候群のことです。高山では空気が地上と比べて薄いため、概ね2,500m以上の高所において酸欠状態に陥った場合に、さまざまな症状が現れます。主な症状は、頭痛、吐き、めまい。こうした低酸素状態に対応しようとする体の変化は、誰にでも起こるものです。高山病の発症の具合は人それぞれで、年齢、高所の経験などに関係なく発症します。ですからどのぐらいの高さで起こるのか、どのぐらいの体力があればいいのかなどはいえません。しかし突然発症して倒れるといった病気ではなく、必ずその前に兆候が現れます。その兆候を警告として捉えることができるかどうかが重要です。また、**一般的に高血圧、心臓病の方は高山病になり易いと言われており、既往症のある方、少しでもご心配な方は、当日程表を医師にお見せいただき、ご相談の上、ご判断下さいませよう願ひ申し上げます**。※高地へのご旅行にご参加の方は必ず、**疾病死亡・治療、救済者費用を含む海外旅行保険へのご加入をお願いしております**。

★高山病対策として

- 1) 体を高所に慣らすことが必要です。これを高所順応といいます。これを無視して高度を上げると症状が悪化することがあります。旅のデザインルームの各コースでは、お客様に無理なく高所順応していただけるよう工夫して日程を組んでいます。
- 2) 添乗員が**パルスオキシメーター（血中酸素飽和度測定装置）**を持参し、必要に応じて客観的にお客様の高度順応状態を把握します。
- 3) 毎日水分はたくさん摂りましょう。高所では脱水が起こりやすく、渇きの感覚も鈍化します。平地では、普通の人は毎日約2リットルの水分を必要とします。高所では1日の水分必要量は4リットルを超えるとされています。
- 4) 暖かくして快適な睡眠をとりましょう。激しい運動や過度な飲酒・喫煙は控えた方が良いでしょう。
- 5) 予防薬：「ダイアモックス」は有効であるという日本旅行医学会の報告があります。但し「ダイアモックス」には副作用として口唇、手足のしびれが出ることがあり、医師の処方が必要です。